

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	該当無	備 考
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数に合わせて複数の活動室で対応している
	補足	指導訓練室における障害児1人当たりの床面積は収納などを除いて、2.47平方メートル以上が目安が望ましいとあります				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			医療的ケア児が多いため、常時3~4名の看護師を配置して対応している
補足	※<参考> 法令では、児童10人に足して2名、11名以上の児童に対しては3名以上が必要です					
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			賃貸のため、残念ながら全てをバリアフリーにする事は叶わないが、出来るだけ段差を解消すべく後付けでスロープを設置する等の配慮をしている その他も検討中
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		パート職員に関しては時間的な問題で難しかったが、現在は時間延長等の対策にて研修等も含め改善中
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からのご意見は業務を行う上で重要であるとの認識で改善を心がけている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開している
	補足	<参考>事業所内での掲示でも可とされている				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価については今後検討する
	補足	<参考>第三者評価機関とは、認定された機関が対象となります				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内外の研修を推奨している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の意向を受け、ケース会議や課題分析の上作成している
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一している
	補足	<参考>事業所内で統一されたアセスメントツールを使用されているか				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合いを行い立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			環境や個人に合わせて工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			環境や個人に合わせて設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			環境や個人に合わせて設定している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングで行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必要に応じて行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			①1日の全体的な様子 ②療育・リハビリの記録 ③医療的ケアの記録を分けて記載することでわかりやすいよう工夫している
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じて行っている
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			必要に応じて行っている	
関係機関 や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に事業所内で検討を行ってから、担当者がサービス担当者会議に参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			事本的に保護者を通じて行っているが、必要に応じて、リハビリについては病院に見学させていただき目標に向けてリハビリメニューを組む等を行っている
	補足	<区分けの為に>前例がない、受け入れていない事業場は回答なしとして下さい				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			基本的には保護者を通じて情報を得ている
	補足	<参考>保護者を通じて努めている場合も「はい」となります				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて行う
補足	<区分けの為に>前例がない、受け入れていない事業場は回答なしとして下さい					
との 連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ケース会議等で助言を受けている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園へ行くこともあるが、児童クラブとの交流については近隣の児童クラブと現在検討中
	補足	<参考>例えば公園やイベントへの参加も含まれます				
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			できる限り参加を心がけている
	補足	<参考>事業所として(事業所内の誰かが)参加しているか				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話、連絡帳を通じて日々相互理解を深めている
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			相談時に必要に応じて助言を行っている	
補足	<参考>※相談援助(面談、相談時の助言を含む)					
保護者	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			管理者が利用開始時に行っている
	補足	<参考>事業所として(事業所内の誰かが)行っているか				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談時に必要に応じて助言を行っている

目への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の際には外部から講師を招く等、保護者支援に努めている
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からのご意見を基に迅速な対応を心がけている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HP上に月毎に掲載している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		必要に応じて行っている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		話しやすい事業所雰囲気作りを心がけている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		町内の方に見学していただくことや地域のお祭りへの参加等を心がけている
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に地震や火災の設定をし、訓練を行っている
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを基に事業所内で研修をしている
補足		※マニュアルがあるか？保護者への説明と計画への記載⇒それがあつた上で、身体拘束の基準を理解できているか。			
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		緊急やむを得ない身体拘束に関する経過観察・再検討記録をとっている
補足		<区分けの為に>前例がない、受け入れていない事業場は回答なしとして下さい			
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食物は持参した物のみとしているが、緊急に必要な際は保護者に確認を行うこととしている
補足	<区分けの為に>前例がない、受け入れていない事業場は回答なしとして下さい				
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの研修等もやっている	